

指定管理者の候補者の選定結果について

1 対象施設

青森県立自然ふれあいセンター（青森市浪岡大釈迦字沢内沢1-1）

2 指定管理者の候補者名

青森県森林組合連合会（青森市松原一丁目16番25号）

3 選定理由

青森県立自然ふれあいセンター指定管理者審査委員会の審査の結果、青森県森林組合連合会が指定管理者として最も優れていると評価されたため、当該団体を指定管理者の候補者とする。

候補者の評価内容

- ・施設の設置目的を理解しており、事業実施に必要な人材の確保が期待できる。
- ・類似施設の運営実績があり、当該施設との連携した事業提案がなされている。
- ・管理運営経費の節減に努力している。
- ・総合的に見て、今回の応募者の中で最も安定的かつ具体的で実現可能性の高い提案である。

4 申請者数

6団体

5 選定の方法

(1) 選定基準及び配点

| ○ 選定基準 ・ 審査基準 | 配点 |
|--|-----|
| 1 県民の平等な利用が確保されること。 ・ 施設の設置目的及び県が示した管理の方針 ・ 平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果 | 10 |
| 2 施設の効用を最大限に発揮すること。 ・ 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果 ・ サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果 ・ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性 | 25 |
| 3 施設の効率的な管理ができること。 ・ 施設の管理運営に係る経費の内容 | 20 |
| 4 施設の管理を適正かつ安定して行う能力を有していること。 ・ 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性 ・ 安定的な運営が可能となる人的能力 ・ 安定的な運営が可能となる経理的基盤 ・ 個人情報 の 適正な取扱いの確保 ・ 類似施設の運営実績 | 25 |
| 5 効果的な管理を踏まえた上で、現在の県民の森梵珠山非常勤管理人の雇用を含めた、自然保護関係の人材を確保していること。 | 20 |
| (合計) | 100 |

(2) 審査方法

審査委員会において、審査基準に基づき、書類審査及びヒアリングによる審査を行った。

(3) 審査委員

委員長 高 坂 孚 (青森県環境生活部長)
委員 奈 良 典 明 (青森県環境審議会副会長)
委員 青 木 智 美 (公認会計士・税理士)
委員 橋 本 都 (青森県環境生活部次長)
委員 矢 田 茂 (青森県自然保護課長)

(4) 審査の経過

平成19年6月 1日 第1回審査委員会 (審査基準等の決定)

平成19年9月11日 第2回審査委員会 (ヒアリング及び審査)